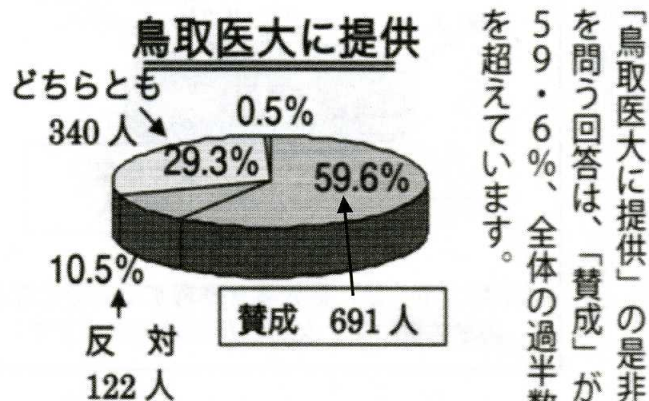


湊山球場は市民の宝・跡地の利活用は、 鳥大医学部と連携した、まちづくりに活かそう



鳥大医学部と隣接の湊山球場

2015.3.14 日本海新聞掲載

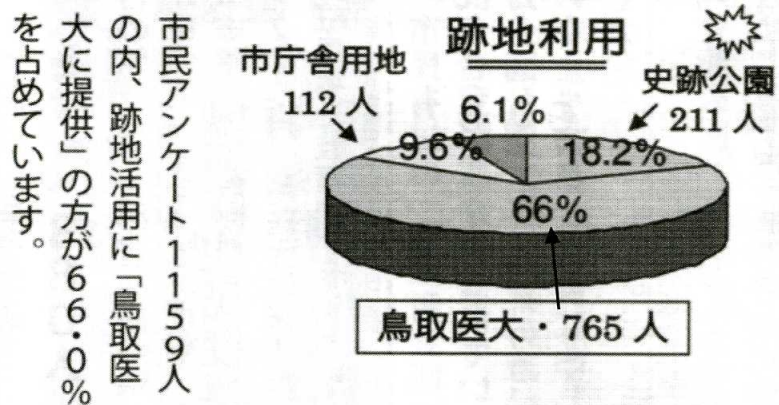


「鳥取医大に提供」の是非を問う回答は、「賛成」が59・6%、全体の過半数を超えています。

(市民の声・市民アンケート)

未来の光
先端医療創造都市を
市民の力で創ろう

鳥大医学部と附属病院は、米子の「三大宝」の一つです。
先端医療、ロボット医療機器等、その経済的価値は、「まち」「ひと」「しごと」を創生します。
未来への可能性を実現しましょう



市民アンケート1159人の内、跡地活用に「鳥取医大に提供」の方が66・0%を占めています。

湊山球場の跡地利用に、市長の目指す「史跡公園計画」を望まれる方は、全体の18.2%と少数です。市民の大半は、鳥大医学部に賛成です。

湊山球場の利活用は、医学部・附属病院に任せましょう。

鳥大医学部・附属病院と連携したまちづくりは、医療産業の誘致や若者の定着、雇用の確保につながり、米子の地域経済に大きな影響を与えます。
湊山球場を廃止した、跡地活用の市民アンケートは、「鳥取大学医学部」に提供が、66%と大半を占めています。

外来の駐車場不足
キャンパスも狭隘

鳥大医学部・附属病院の喫緊の課題に、外来者の駐車場不足、施設の老朽化、キャンパスの狭隘等があります。これらは、鳥大だけでなく、存在地の米子市の課題でもあります。

高齢化社会、少子化社会にとって、大切なことは「まち」に、「力」をつけることです。
「まち」に「力」がつけば、市の財政も豊かになり、行政サービスも向上します！